

防衛省仕様書

D S P
D 6019G

3 $\frac{1}{2}$ t水タンク車(5000L)

制定 昭和57年 3月30日
改正 令和 6年 9月25日

(TRUCK, TANK)

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、飲料水などの輸送及び給水に使用するキャブオーバー形総輪駆動の3 $\frac{1}{2}$ t水タンク車（5000L）（以下，“トラック”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、JIS D 0101及びJIS D 0102による。

1.2.1

空車状態

空車状態とは、トラックに燃料、潤滑油、冷却水などを全量搭載し、携行工具、附属品及び予備部品を取付位置などに収納した状態をいう。ただし、タイヤチェーン及び燃料携行缶は、含まない。

1.2.2

最大積載状態

最大積載状態とは、空車状態のトラックに操縦手1名（80 kg）、助手1名（80 kg）及び5000Lの水を満載した状態をいう。

1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、表1による。

表1－製品の呼び方

製品の呼び方	物品番号
3 $\frac{1}{2}$ t水タンク車（5000L）	2320-283-6685-5

1.4 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

JIS B 7505-1	アネロイド型圧力計－第1部：ブルドン管圧力計
JIS B 9912	消防用ねじ式結合金具の結合部の種類及び寸法
JIS D 0101	自動車の種類に関する用語
JIS D 0102	自動車用語－自動車の寸法、質量、荷重及び性能
JIS G 3459	配管用ステンレス鋼鋼管
JIS K 6338	吸排水用ゴムホース（ウォーターサクションディスチャージホース）

b) 仕様書

DSP D 0003	3 $\frac{1}{2}$ tトラック
DSP Z 1005	燃料携行缶

c) 法令等

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第1号）

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求事項

このトラックは、自衛隊の使用する自動車に関する訓令（以下，“訓令”という。）に適合しなければならない。

2.2 部品・付加材等・工具類の互換性

官側で保有する部品，付加材等及び工具類の使用に，極力互換性がなければならない。

2.3 構成

構成は，次による。

- a) 機関
- b) 動力伝達装置及び走行装置
- c) ブレーキ装置
- d) 懸架装置
- e) かじ取り装置
- f) フレーム
- g) 操縦室
- h) 動力取出装置
- i) タンク及びタンク関連装置
- j) ポンプ
- k) 配管
- l) 灯火類
- m) 附属装置など

2.4 ねじ部品類

ねじ部品類は，D S P D 0003の2.4による。

2.5 構造・形状・寸法・質量

2.5.1 構造

構造は，次によるほか，D S P D 0003の2.5.1による。ただし，D S P D 0003の2.5.1 h), k) 4), k) 8), k) 9)及びk) 13)は，除く。

- a) 懸架装置の後部は，トラニオンボギー式の車軸式懸架とし，トルクロッドを用いる。
- b) ピントルフック及びブレーキ用エアジョイントは，トラックの後端に取り付け，1 tトレーラ及び1 t水タンクトレーラのけん（牽）引が可能な構造とする。また，フレーム前部にけん（牽）引回収などに使用が可能なフックを2個設ける。

- c) 燃料携行缶¹⁾ 2個を収納が可能な取付具を，配管室左側上部に取り付ける。

注¹⁾ D S P Z 1005の燃料携行缶

- d) 調達要領指定書によって指定する場合を除き，電源供給用ソケットを，配管室内側の右側前方の適宜の位置に取り付けられる構造とする。
- e) 調達要領指定書によって指定する場合を除き，巻込防止装置の左右昇降用ステップ部に，しま鋼板を使用した滑り止め処置を施す。
- f) 動力取出装置は，ポンプ駆動の動力を変速機側面から取り出す方式で，コンスタントメッシュ式とする。

g) タンク及びタンク関連装置は、次による。

- 1) タンク本体は、容量5 000 Lのだ（楕）円形とし、継ぎ目箇所を可能なだけ上部におくよう溶接によって製作する。
- 2) タンク内部に防波板を設ける。
- 3) タンク本体は、サブフレームに溶接のうえ、シャシフレームに緩衝物を介して、ボルト、ナット及びブラケットによって取り付けれる。
- 4) タンク本体の外側には、約50 mmの厚さのグラスウールをはり、その外側を1.2 mm～1.6 mmの厚さの鋼板で覆い、保温を図れる構造とする。
なお、タンク本体下部の加熱室と接する部位は、加熱室外側にグラスウールをはる。
- 5) タンク本体外面及びグラスウールを覆う鋼板の内面は、十分な防せい（錆）処理を施す。
- 6) タンク上部には、マンホールを1個設け、マンホールと蓋は、カバーで覆う。
- 7) マンホールは、内径430 mmとし、蓋は厚さ約25 mmのグラスウールを中間に充てん（填）した鋼板とし、パッキンを挿入のうえ、ヒンジビームで締めつけることによって、完全に気密が保てる構造とする。また、蓋には、空気安全弁を設ける。
- 8) タンク上部中央には、全長にわたり幅約800 mmのしま（縞）鋼板製作業甲板を設ける。
- 9) タンク下部には底弁を、上部には底弁ハンドルを、各1個設ける。
- 10) タンク本体内面は、グリッドブラスト又はサンドブラストした後、白色エポキシ樹脂系の塗料を4回塗装する。塗膜の厚さは、0.2 mm～0.5 mmとする。
- 11) タンクの両側面に、ホース収納箱（鍵付き）を設ける。
- 12) タンク前方に、鋼板製の配管室を設ける。配管室上面は、しま（縞）鋼板製とし、左右両側には給排水口及び操作弁用の扉を設ける。
- 13) 配管室上部に、工具及び小口給水装置の収納箱（鍵付き）を取り付ける。
- 14) タンク後部右側に、はしごを設ける。

なお、調達要領指定書によって指定する場合を除き、はしごのステップ部に、しま鋼板を使用した滑り止め処置を施す。

- 15) タンク下部に水の凍結防止を図るため、排気を利用した加熱室を設け、加熱室の内面は、十分な防食及び防せい（錆）処理を施す。

なお、加熱室入口の排気管分岐部には、外部から操作が可能な切換弁を取り付ける。

h) ポンプは、次による。

- 1) 形式 タービンポンプ
- 2) 定格吐出量 約2 800 min^{-1} で500 L/min以上
- 3) 口径 約70 mm
- 4) 動力は、動力取出装置、駆動軸、チェーン及びスプロケットを介して、取り入れる。

i) 配管は、次による。

- 1) 配管は、飲料水に適した鋼管、又はステンレス鋼鋼管²⁾による。

注²⁾ JIS G 3459の50 A

- 2) 配管の途中に圧力計及び連成計³⁾を取り付ける。

注³⁾ JIS B 7505-1のブルドン管圧力計

- 3) 水の動力吸入、動力吐出及び重力吐出が可能なよう切換用の四方コックを、配管途中に取り付ける。

4) 給水口は、配管室両側に各 1 個所設け、着脱が容易で、同時に 4 個以上の小口給水が可能な装置を取り付ける。

2.5.2 形状・寸法

形状及び寸法は、付図 1 を標準とする。

2.5.3 質量

質量は、表 2 を標準とする。

表 2－質量

		単位	k g
区分		規定	
空車質量		9 4 9 0	
空車状態の配分質量	前軸重	4 5 6 0	
	後軸重	4 9 3 0	
最大積載状態の質量		1 4 6 5 0	

2.6 外観・性能・機能

2.6.1 外観

外観は、DSP D 0003 の 2.6.1 による。

2.6.2 性能・機能

性能及び機能は、表 3 によるほか、DSP D 0003 の 2.6.2 による。ただし、DSP D 0003 の付表 1 中、“標準積載状態”とあるのを“最大積載状態”に読み替える。

表 3－性能・機能

項目		規定
最大安定傾斜角		右側及び左側に 3 5 度未満の傾きで転覆してはならない。
走行性能	最小回転（旋回）半径	9. 4 m 以下とする。
ぎ装性能	吸入	表 4 の試験方法によって試験したとき、 500 ± 50 L /min とする。
	吐出	
	継続運転	表 4 の試験方法によって試験したとき、異常があつてはならない。

2.7 塗装

塗装は、DSP D 0003 の 2.7 による。

なお、タンク外面及び配管は、車体外部と同様とする。

2.8 製品の表示

製品の表示は、DSP D 0003 の 2.8 による。

2.9 標識

標識は、DSP D 0003 の 2.9 による。

3 品質保証

3.1 検査

検査は、表 4 によるほか、DSP D 0003 の付表 1 による。ただし、DSP D 0003 の付表 1 中、“荷台”とあるのを“タンク”に、“標準積載状態”とあるのを“最大積載状態”に、それぞれ読み替える。

3.2 保証範囲

官側において、2.2の付加材等を取り付けて運用したことに起因する不具合は、品質保証の範囲外とする。

表4－3 $\frac{1}{2}$ t 水タンク車（5000L）の検査項目、試験方法及び判定基準

検査項目		試験方法	判定基準
ぎ装性能	吸入	ポンプを2 800 min ⁻¹ （基準）で運転し、外部水槽からタンクへ吸水し、吸入量を調べる。	2.6.2による。
	吐出	ポンプを2 800 min ⁻¹ （基準）で運転し、タンク内の水を吐出し、吐出量を調べる	
	継続運転試験	ポンプを2 800 min ⁻¹ （基準）で継続30分以上運転し、もれ、異音及び過熱を調べる。	

4 出荷条件

出荷条件は、DSP D 0003の箇条4による。

5 その他の指示

5.1 携行工具・予備部品

携行工具及び予備部品は、DSP D 0003の5.1によるほか、予備部品として、ホース接手用パッキング10個を加える。

5.2 附属品

附属品は、DSP D 0003の5.1（ただし、安全バンドを除く。）によるほか、表5による。

表5－附属品

名称	数量	規定
サクシオンホース	2	内径50 mm，長さ3 m，両端カップリング付きとし、ホース本体の品質は、JIS K 6338の規格と同等以上とする。また、カップリングは、青銅製又は亜鉛合金製とし、JIS B 9912による。
デリバリホース	1	内径50 mm，長さ9 m，帆布製で青銅製カップリング付きとし、カップリングは、JIS B 9912による。
小口給水装置	2	—
スパナ	2	ホース接手用
スパナ	1	小口給水装置用
ハンドル	1	排気管分岐部切替弁操作用

5.3 承認用図面

契約の相手方は、製造に先立ち承認用図面を提出し、契約担当官等の承認を受ける。

なお、提出部数は3部とする。

5.4 申請書類

契約の相手方は、訓令に基づく適用除外の申請のため、次の書類各4部を契約後速やかに契約担当官等を経由の上、調達要求元に提出する。ただし、契約担当官等が認めた場合は、一部又は全部を省略してもよい。

- 主要諸元表
- 外観三面図又は外観四面図
- 原動機性能曲線図

6

D 6019G

d) 走行性能曲線図

e) 主要部強度計算書

5.5 納入書類

5.5.1 添付書類

添付書類は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、トラック 1 両ごとに、取扱説明書 1 部とする。

5.5.2 提出書類

提出書類は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、表 6 による。

表 6－提出書類

名称	時期	数量	提出先	注記
取扱説明書	納入時	1	調達要求元	—
部品表		1		—
完成品写真		1 組		キャビネ版四面（前後左右）

5.6 技術変更提案

契約の相手方は、技術変更提案を要する事項が発生した場合は、DSP Z 9004 によって技術変更提案書を作成し契約担当官等に提出する。

